

# 書類閲覧用 端末要件

平成 29 年4月

金融庁 総務企画局 企業開示課

- ◆Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。
- ◆Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標又は商標です。
- ◆Oracle と Java は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。文中の社名、商品名等は各社の商標又は登録商標である場合があります。
- ◆Adobe® product screen shots reprinted with permission from Adobe Systems Incorporated.
- ◆Adobe、Adobe Photoshop、Adobe Illustrator は、Adobe Systems Incorporated の登録商標又は商標です。
- ◆その他、記載されている会社名及び製品名は、各社の登録商標又は商標です。
- ◆本文中では、TM、®、©は省略しています。
- ◆本文及び添付のデータファイルで題材として使用している個人名、団体名、商品名、ロゴ、連絡先、メールアドレス、場所、出来事等は、全て架空のもので、実在するものとは一切関係ありません。
- ◆本書に掲載されている内容は、平成 29 年4月現在のもので、予告なく変更される可能性があります。
- ◆本書で公開している情報の利用については、利用規約(<https://disclosure.edinet-fsa.go.jp/EKW00Z0030.html>)を遵守してください。
- ◆本書に記載の会社名及び製品名について、金融庁はそれらの会社、製品等を推奨するものではありません。

1 操作環境について	4
1-1 Windows 8.1 又は 10 をお使いの方へ	5
1-2 Firefox をお使いの方へ	5
2 事前準備	6
2-1 EDINET 利用時の操作環境	6
2-2 信頼済みサイトへの登録	7
2-3 証明書の設定	10
2-3-1 証明書設定の必要性確認	10
2-3-2 証明書の設定	12
2-4 JRE の設定	13
2-5 フィルタリングソフトを導入している場合	14

# 本書について

本書は、「有価証券報告書等の開示書類を閲覧するサイト」を利用するためのコンピュータの事前準備及び必要な設定変更について説明しています。

## EDINET を御利用いただくために






EDINET で開示書類を閲覧するための前提知識として、一般的な Web ブラウザを使用し、インターネットが御利用いただける方を対象としています。

## 本書の表記について

本書は次の環境で作成しています。

OS	Microsoft Windows 7 SP1
ソフトウェア	Microsoft Internet Explorer 11 JRE Version8 Update101 Adobe Acrobat Reader DC

本書内に記載している記号は、次のような意味があります。

表示	意味	表示	意味
POINT 	操作に関連するポイントについて説明しています。		画面の入力又は選択する項目等を指します。
MEMO 	知っておいていただきたいことについて説明しています。		画面で表示された項目を指します。
 重要	重要事項について説明しています。必ずお読みください。	《 》	画面の項目名を指します。 例：《EDINET コード》をクリックします。
[ ]	画面名を指します。 例：[提出者検索画面]が表示されます。	【 】	キーを押す操作を指します。 例：【F5】キーを押します。

## 製品名の記載について

本書では、次の略称を使用しています。

名称	略称
Windows 10	Windows 10 又は Windows
Windows 8.1	Windows 8.1 又は Windows
Windows 7	Windows 7 又は Windows
Windows Internet Explorer 11	Internet Explorer 11 又は Internet Explorer
Windows Internet Explorer 9	Internet Explorer 9 又は Internet Explorer
Adobe Acrobat Reader DC	Acrobat Reader DC 又は Acrobat Reader

**<<EDINET の利用に当たって>>**

**EDINET を装い、ユーザ ID、パスワード等の個人情報を盗もうとする偽の Web サイトに注意してください。**

**このような Web サイトに誘導するメールが届いても、リンク先にアクセスしたり、添付ファイルを開いたりしないように注意してください。**

**EDINET からメールで個人情報を照会することは一切ありません。**

**なお、ウィルス対策ソフトを最新の状態にするなど、御利用環境のセキュリティ対策をおすすめします。**

# 1 操作環境について

「有価証券報告書等の開示書類を閲覧するサイト」を利用する場合の、コンピュータ環境について説明します。

EDINET は、次の条件を満たす標準的なパソコンで動作を確認しています。

また、「ソフトウェア」のオペレーティングシステムと Web ブラウザとの組合せは、下表の組合せにより、動作確認をしています。なお、「JRE (Java Runtime Environment)」については JRE8 の最新バージョンを設定することを推奨しています。

JRE の設定手順については、「2-4 JRE の設定」を参照してください。

## <ハードウェア>

ディスプレイ解像度： 1024 × 768 以上

## <ソフトウェア>

オペレーティングシステム	Web ブラウザ
Windows10	Internet Explorer 11 ※1 Firefox ※2
Windows8.1	Internet Explorer 11 ※1 Firefox ※2
Windows7 SP1	Internet Explorer 11 ※1 Firefox ※2
JRE (Java Runtime Environment)	8 の最新バージョン (32bit)

※1 拡張保護モードを無効に設定し、御使用ください。

また、EDINET では、サーバ側で「Internet Explorer9」として互換表示するように設定しています。

ブラウザの互換表示設定をする場合は、「Internet Explorer10」以降のモードを指定しないでください。

※2 バージョン 17 以上を御利用ください。セキュリティの観点から、最新バージョンの御利用を推奨しています。

※上の表の組合せ以外で EDINET を利用する場合、画面の表示が操作ガイドと一部異なる場合があります。

※EDINET を利用するためには、事前に政府認証基盤 (GPKI) のホームページから「アプリケーション認証局2(Root)の自己署名証明書」を入手する必要があります。手順は「2-3 証明書の設定」(p.10)を確認してください。

※PDF の書類を閲覧するためのソフトウェア (例: Acrobat Reader) が必要です。

※JRE は、XBRL から CSV への変換ツールを利用する場合に必要です。

## 1-1 Windows 8.1 又は 10 をお使いの方へ

Windows 8.1 又は 10 環境で EDINET を御利用いただく場合は、次の注意事項があります。

- メニュー、テキストボックスの位置、サイズ等が異なる場合があります。
- ダイアログボックスの指定方法及びウィンドウの表示が、操作ガイドの記載と一部異なる場合があります。

## 1-2 Firefox をお使いの方へ

Web ブラウザとして Firefox を使用し EDINET を御利用いただく場合は、次の注意事項があります。

- メニュー、テキストボックスの位置、サイズ等が異なる場合があります。
- ダイアログボックスの指定方法及びウィンドウの表示が、操作ガイドの記載と一部異なる場合があります。

## 2 事前準備

EDINET を利用する前に、御利用いただくコンピュータに事前準備が必要です。事前準備の手順について説明します。

### 2-1 EDINET 利用時の操作環境

EDINET に接続する際に、御利用いただいているコンピュータで、初期設定から変更する箇所について説明します。

#### 1 信頼済みサイトへの登録

Web ブラウザとして、Internet Explorer を使用する方は、[有価証券報告書等の開示書類を閲覧するサイト]を信頼済みサイトに登録します。



#### 2 証明書の設定

Internet Explorer を使用する方のうち「証明書の自動更新」プログラムが有効でない方、又は Firefox を使用する方は、政府認証基盤(GPKI)のホームページから「アプリケーション認証局 2(Root)の自己署名証明書」をダウンロードし設定します。

1 台のパソコンで、Internet Explorer 及び Firefox を使用している場合は、Internet Explorer で設定すると、Firefox の設定にも自動で反映がされます。



#### 3 JRE の設定

**XBRL から CSV への変換ツールを利用する場合のみ設定します。**



## 2-2 信頼済みサイトへの登録

Internet Explorer を起動し、[有価証券報告書等の開示書類を閲覧するサイト] を「信頼済みサイト」に登録します。「信頼済みサイト」には安全であることがわかっている Web サイトの URL を登録しておくことで、登録した Web サイトからのダウンロード及び実行時の警告が表示されず、また、実行時の制限を受けないようにできます。EDINET の [有価証券報告書等の開示書類を閲覧するサイト] を正しく動作するように利用していただくために、信頼済みサイトへ登録します。

### 1

Internet Explorer を起動します。

### 2

メニューバーの《ツール》から《インターネット オプション》をクリックします。




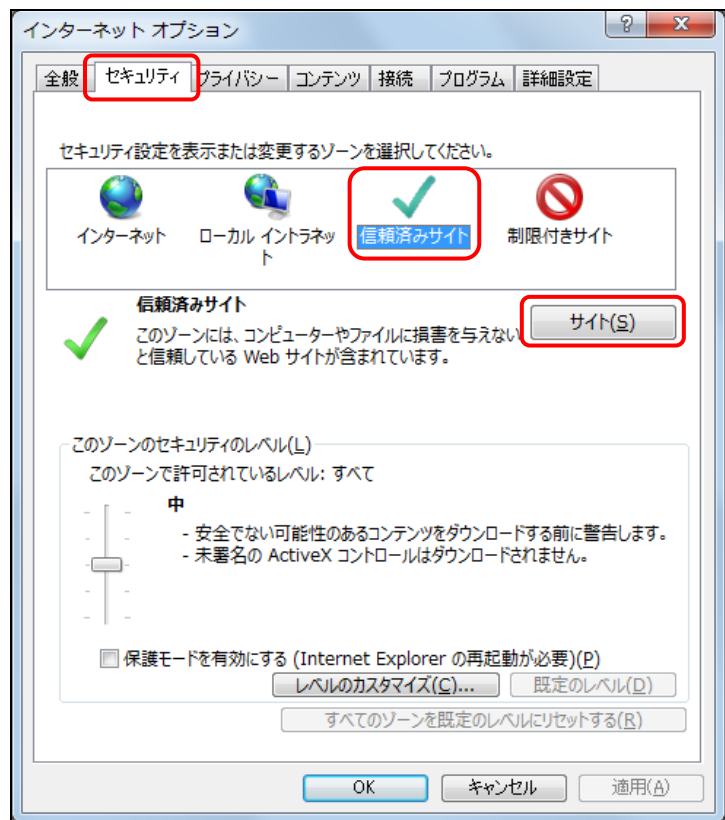
[インターネット オプション]が表示されます。セキュリティの設定をします。

### 3

《セキュリティ》タブをクリックします。

### 4

 (信頼済みサイト)を選択し、信頼済みサイト  (サイト)をクリックします。



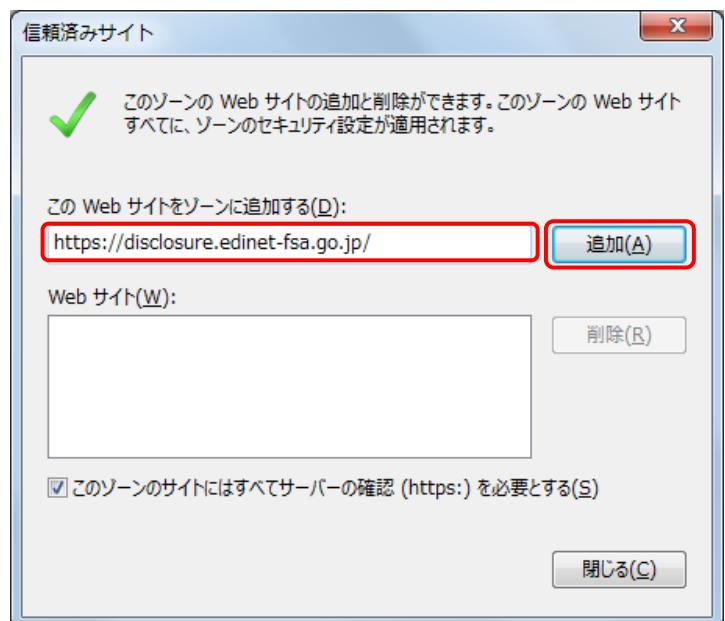
[信頼済みサイト]が表示されます。

### 5

《次の Web サイトをゾーンに追加する》に「<https://disclosure.edinet-fsa.go.jp/>」と入力します。

### 6

(追加)をクリックします。

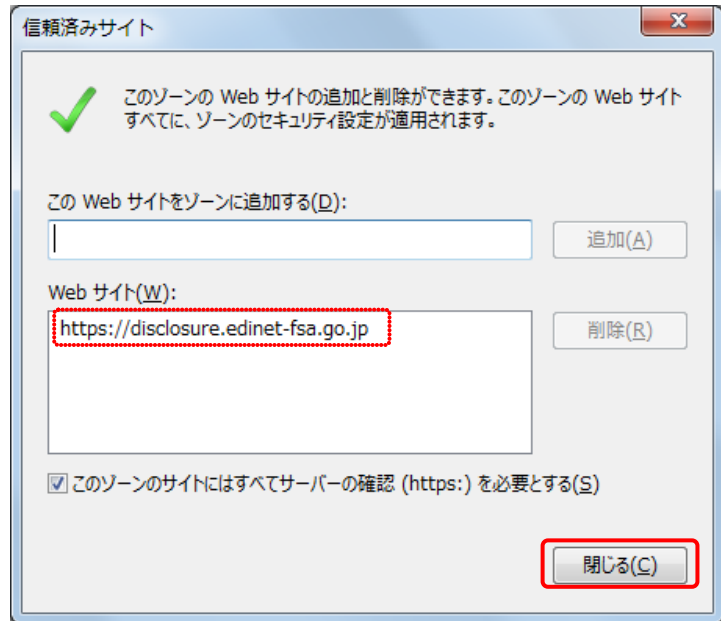


## 7

《Web サイト》に操作 5 で入力した URL が追加されたことを確認します。

## 8

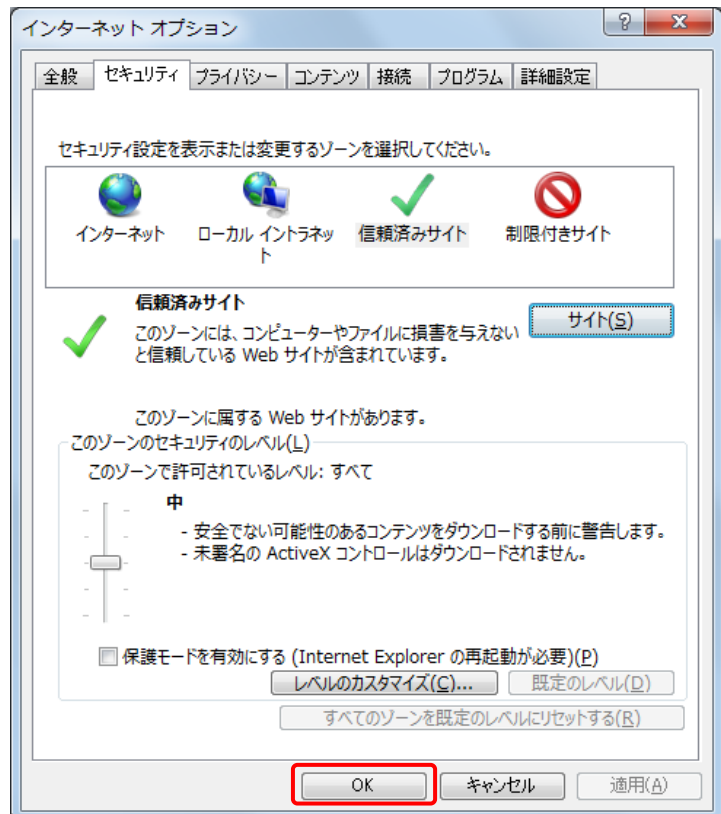
(閉じる) をクリックします。



[インターネット オプション]に戻ります。

## 9

(OK) をクリックします。



## 2-3 証明書の設定

Internet Explorer を使用する方のうち「ルート証明書の更新」プログラムが有効でない方又はFirefoxを使用する方は、EDINETに接続するために政府認証基盤（GPKI）のホームページから「アプリケーション認証局2(Root)の自己署名証明書」をダウンロードし、御利用いただくコンピュータに設定してください。

Internet Explorer を使用する方は、「2-3-1 証明書設定の必要性確認」の操作をし、設定が必要であるかを確認します。設定が必要な方（Firefoxを使用する方を含む）は、「2-3-2 証明書の設定」の操作をします。

### 2-3-1 証明書設定の必要性確認

Internet Explorer を使用する場合は、EDINETの「有価証券報告書等の開示書類を閲覧するサイト」に接続し、「アプリケーション認証局2(Root)の自己署名証明書」を手動で設定する必要があるかを確認します。

#### 1

Webブラウザを起動し、「有価証券報告書等の開示書類を閲覧するサイト」を表示します。

URL

<http://disclosure.edinet-fsa.go.jp/> に接続してください。



#### 2

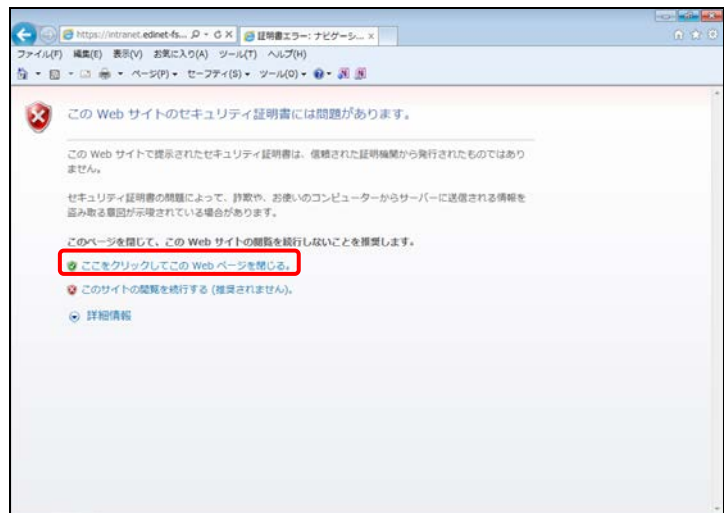
「有価証券報告書等の開示書類を閲覧するサイト」にある《書類検索》の《書類簡易検索》をクリックします。



## 3

[セキュリティの警告]が表示される場合は、「2-3-2 証明書の設定」の操作が必要です。

《ここをクリックしてこの Web ページを閉じる》をクリックして Web ブラウザを終了します。

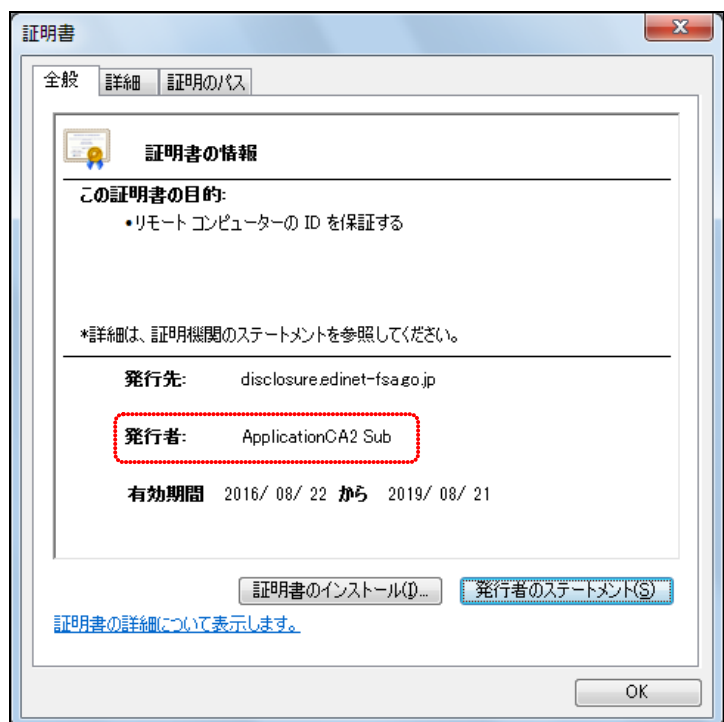
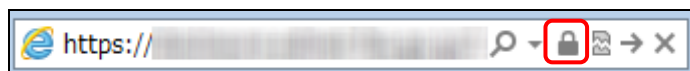


[セキュリティの警告]が表示されない場合



[セキュリティの警告]が表示されない場合は、「2-3-2 証明書の設定」は不要です。Web ブラウザの鍵マークをクリックし、[証明書]を表示します。

《発行者》に「ApplicationCA2 Sub」と表示されることを確認します。



## 2-3-2 証明書の設定

政府認証基盤（GPKI）のホームページから、「アプリケーション認証局2(Root)の自己署名証明書」をダウンロードし、御利用のコンピュータに設定します。

### 1

Web ブラウザを起動します。

### 2

政府認証基盤（GPKI）のホームページに接続し、「アプリケーション認証局2(Root)の自己署名証明書」をダウンロードし、設定します。

《アプリケーション認証局2》をクリックし、以降の操作は表示される画面に従ってください。

政府認証基盤(GPKI)の  
ホームページ



政府認証基盤(GPKI)のホームページの  
URL は、<http://www.gpki.go.jp/> です。

政府認証基盤(GPKI)のホームページ及び「アプリケーション認証局2(Root)の自己署名証明書」の設定に関する質問は、政府認証基盤(GPKI)のホームページに記載されている、「お問い合わせ」より確認してください。



※本画面は 2016 年 9 月現在のものです。

## 2-4 JRE の設定

「XBRL から CSV への変換ツール」を利用する場合は、事前に Oracle Corporation の「JRE (Java Runtime Environment)」のインストールが必要です。



### JRE (Java Runtime Environment) のダウンロードサイト

JRE (Java Runtime Environment) は、次のホームページからダウンロードできます。

※次のホームページは Oracle Corporation で運営されており、金融庁が運営しているものではありません。このアドレスは 2013 年 3 月時点のものです。

<http://www.java.com/ja/download/>

#### 1

Internet Explorer を起動し、Java のダウンロードサイトを表示します。

#### 2

画面中央にある「無料 Java のダウンロード」ボタンをクリックします。

#### 3

以降の操作は表示される画面に従ってください。



## 2-5 フィルタリングソフトを導入している場合

フィルタリングソフトを導入している場合で、EDINET に提出された書類を閲覧するときは、次の URL がアクセスできるように設定してください。

<EDINET>

<http://disclosure.edinet-fsa.go.jp/>

<https://disclosure.edinet-fsa.go.jp/>

<https://disclosure-sorry.edinet-fsa.go.jp/>

<政府認証基盤(GPKI)>

<https://www.gpki.go.jp/>

また、EDINET での書類閲覧にあたり、Adobe Reader が必要となります。また、XBRL から CSV への変換ツールを使用する場合は、JRE (Java Runtime Environment) が必要となります。御利用いただくコンピュータに事前にインストールしておくか、又はそれぞれのダウンロードサイトをアクセスできるように設定してください。



■■■ 改版履歴 ■■■

No.	改版日	改版内容
1	2013.08	初版
2	2013.09	「2-3-1 証明書設定の必要性確認」の「MEMO[セキュリティの警告]が表示されない場合」について、「《発行者》が「ApplicationCA」と表示されることを確認します。」へ変更。
3	2013.12	「2-3-1 証明書設定の必要性確認」の「MEMO[セキュリティの警告]が表示されない場合」について、「《発行者》を「ApplicationCA2 Sub」へ変更。 政府認証基盤(GPKI)の認証の更新のため、「アプリケーション認証局の自己署名証明書」を「アプリケーション認証局2(Root)の自己署名証明書」へ変更。あわせて、「2-3-2 証明書の設定」の画像を差し替え。 「2-3-2 証明書の設定」の「2」について、「《アプリケーション認証局2》をクリックし、」へ変更。
4	2014.04	「1 操作環境について」の「<ソフトウェア>」について、オペレーティングシステム「WindowsXP」を削除し、「Windows8」及び「Windows8.1」を追加。 Web ブラウザに「Internet Explorer 10」及び「Internet Explorer 11」を追加。 JRE を「Version7 Update7」から「Version7 Update51」に変更。
5	2015.02	「1 操作環境について」に JRE8 を追加。 「1 操作環境について」の「<ソフトウェア>」について、JRE を「Version7 Update51」から「Version7 Update75」に変更し、「Version8 Update31」を追加。
6	2015.04	「1 操作環境について」から JRE7 を削除。 「1 操作環境について」の「<ソフトウェア>」について、JRE を「Version8 Update31」を「Version8 Update45」に変更し、「Version7 Update75」を削除。
7	2016.01	「1 操作環境について」の「<ソフトウェア>」について、次のオペレーティングシステム及び Web ブラウザの組合せを削除。 ・Windows8.0、Internet Explorer 10 ・Windows7 SP1、Internet Explorer 8～10 ・Windows Vista SP2、Internet Explorer 7～8 「1 操作環境について」の「<ソフトウェア>」の JRE に関する記載を修正。 「1-1 Windows Vista をお使いの方へ」を「1-1 Windows Vista 又は 8.1 をお使いの方へ」に変更。
8	2016.03	「1 操作環境について」の「<ソフトウェア>」について、次のオペレーティングシステム及び Web ブラウザの組合せを追加。 ・Windows10、Internet Explorer 11 ・Windows10、Firefox 「1-1 Windows Vista 又は 8.1 をお使いの方へ」を「1-1 Windows Vista、8.1 又は 10 をお使いの方へ」に変更。
9	2016.04	サーバー証明書の更新に伴い、「2-3 証明書の設定」の画像を差し替え。

No.	改版日	改版内容
10	2017.04	<p>「1 操作環境について」の「&lt;ソフトウェア&gt;」について、次のオペレーティングシステム及び Web ブラウザの組合せを削除。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・Windows Vista SP2、Internet Explorer 9 (32bit)</li><li>・Windows Vista SP2、Firefox</li></ul> <p>「1-1 Windows Vista、8.1 又は 10 をお使いの方へ」を「1-1 Windows 8.1 又は 10 をお使いの方へ」に変更。</p>

